

令和6年11月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	6,037	9,462	4,755	4,707	16	42
2 千 石	4,279	6,971	3,478	3,493	18	18
3 内 山	5,975	8,183	4,389	3,794	29	22
4 大 和	3,700	6,718	3,336	3,382	△ 4	△ 12
5 上 野	7,555	15,375	7,524	7,851	△ 13	△ 15
6 高 見	7,556	13,433	6,375	7,058	54	79
7 春 岡	7,341	11,233	5,961	5,272	22	22
8 田 代	11,396	21,912	10,509	11,403	35	29
9 東 山	10,435	19,007	9,286	9,721	33	25
10 見 付	4,595	8,450	4,254	4,196	44	60
11 星 ケ 丘	3,634	6,869	3,050	3,819	3	△ 4
12 自 由 ケ 丘	3,556	7,095	3,218	3,877	3	2
13 富 士 見 台	6,519	14,989	6,814	8,175	4	△ 8
14 宮 根	3,825	7,896	3,641	4,255	△ 6	△ 37
15 千 代 田 橋	3,780	8,122	3,803	4,319	7	10
千 種 区 計	90,183	165,715	80,393	85,322	245	233
R5.11.1	88,804	165,197	80,172	85,025	152	96
対 前 年 比	1379	518	221	297	93	137
名 古 屋 市	1,176,010	2,332,248	1,144,732	1,187,516	1,526	984
愛 知 県 (R6.10.1)	3,368,627	7,465,250	3,717,349	3,747,901	2,877	△ 262

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	86	165	△ 79	1,078	766	312

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の新設住宅着工戸数

今回は統計データ（国土交通省「建築動態統計調査」）に基づいて、新設住宅着工戸数および1戸あたりの床面積を見ていきます。

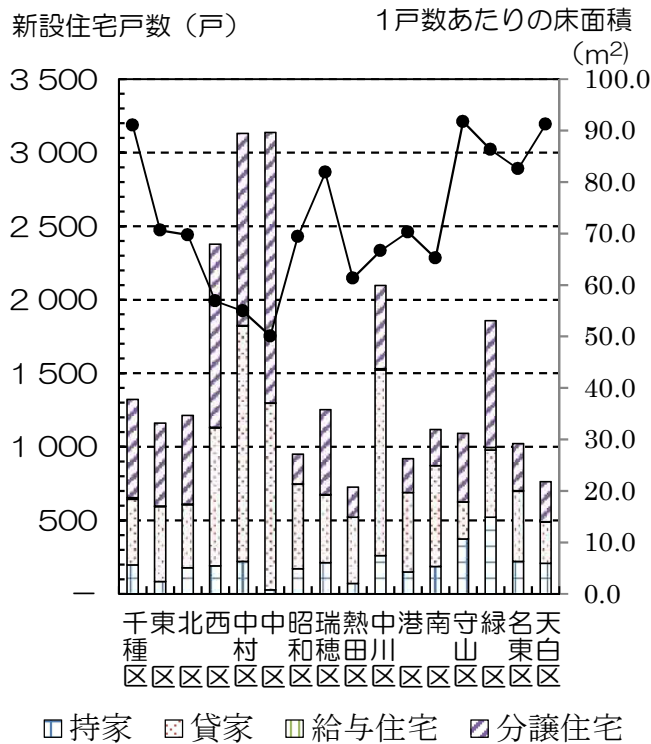


図1: 区別利用関係別新設住宅の着工戸数
および1戸あたりの床面積（令和5元年）

名古屋市の令和5年中の新設住宅着工戸数を見ると（図1）、多い順に中区（3,137戸）、中村区（3,131戸）、西区（2,377戸）と続き、千種区（1,322戸）は第6位となっております。これは名古屋市全体（24,139戸）の約5.5%を占めています。

利用関係別の戸数でみると、千種区は持家197戸、貸家447戸、給与住宅11戸、分譲住宅667戸となっています。

これらの新設住宅着工戸数の、1戸あたりの床面積を区別で見えてみると、大きい順に守山区（91.7㎡）、天白区（91.2㎡）と続き、千種区は91.0㎡で3番目でした。これは名古屋市平均（68.6㎡）よりも22.4㎡広い値です。

次に千種区の新設住宅着工戸数の推移を見ていきます。（図2）平成3年以降の利用関係別新設住宅着工戸数の推移を見ると、総数ではバブル崩壊後の平成3年には前年度比で40%以上減少しました。その後持ち直したものの平成19年、平成24年にも対前年度比で30%以上減少するなど、右肩下りの傾向でしたが、平成30年には前年比154%の着工増加となりました。令和2年には対前年度比で20%以上の減少、令和3年には50%以上の増加となり、令和5年は対前年度比約11%の着工増加となりました。

内訳をみると持家は年間200戸程度で変動があまり大きくないのに対し、貸家や分譲住宅は年ごとの変動が大きいことがわかります。特に分譲住宅は、平成26年に200戸、令和元年には872戸、令和4年には1,493戸、令和5年には667戸と年によって大きな差が見えます。

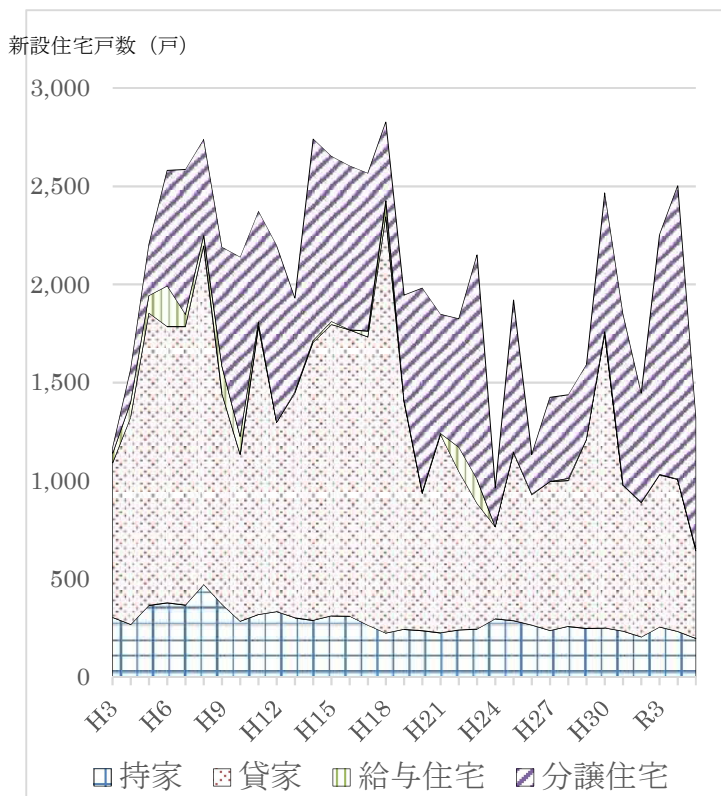


図2: 千種区の利用関係別新設住宅着工戸数の推移（H3～）